

令和2年度事業報告

I 概要

令和2年度は、新型コロナウイルスと対峙し、対応に追われた1年でした。高齢者が多いシルバー人材センターでは、クラスターの発生に細心の注意を払いながら、公共施設の休館などで、事業実績が激減する中、如何にして事業運営を図っていくかを念頭に置き、事業を実施して参りました。

また、現在の八女地域は、全国平均を大幅に上回って高齢化が進む一方で、社会を支える現役世代が減少しています。このような社会においては、高齢者が社会を支える一員として活躍し続ける「生涯現役社会」を実現することが求められています。

シルバー人材センターは、各地域の実情に合った就業機会を提供し、高齢者の「居場所」と「出番」をつくり、「生涯現役社会」の実現に向けた役割を果たしています。併せて、高齢者の充実した生きがいと、社会参加の促進を図ることにより、地域社会の活性化と社会保障費の削減など、公共的な役割に寄与しています。

しかし、シルバー人材センターを取り巻く情勢は、定年の延長や継続雇用制度などの影響により、会員の確保は厳しい状況となっています。

本センターでは、「会員の自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、公平な就業機会の提供と安全・適正就業を第一として事業の推進を図るとともに、随時シルバー人材センターの説明機会を設け、会員の確保に努めました。

新規入会会員については、会員の方々の口コミ等により、一定数の入会申込みはありましたが、コロナ禍も影響して、全体の会員数は微減となりました。また、契約金額についても、新型コロナによる緊急事態宣言の影響で、大幅に減少しました。

安全・適正就業委員会では、「安全は全てに優先する」をモットーに安全パトロールを実施するとともに、チェーンソー・草刈機の取扱講習会を計画しておりました。しかし、業務部会の接遇講習会とともに、新型コロナの影響で多くの講習会を中止せざるを得ませんでした。

普及啓発事業の取り組みとして、管内全世帯へシルバー事業パンフレットの配布や、FM八女でのPR、奉仕作業の実施、地域のボランティア活動等に参加しました。

今後も、公益社団法人として法令遵守に努めると共に、地域住民の方々に信頼され、期待されるシルバー人材センターとして運営していく所存であります。

以下、令和2年度の主な事業について報告します。

II 事業の実施及び結果

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援（公益目的事業）

1 就業開拓提供事業

(1) 受託事業（一般）

安全・適正就業を基本に会員の希望や能力など高齢者に適した就業機会の提供を行いました。また、ローテーション及びグループ就業を推奨し、公平な就業機会の提供や会員間の連携強化に配慮しました。

① 令和2年度実績

就業実人員	就業延人員	就業率	契約金額
518人	52,136人日	91.5%	283,308千円

② 主な職群別就業分野

【事務整理】

年賀はがきなどの宛名書きを実施しました。

【管理】

庁舎管理、学校管理、駐車場管理、民間の施設管理などを実施しました。

【技能】

家庭、民間事業所、公共機関から依頼された植木の剪定、左官工事などの営繕作業、障子張り替え等を実施しました。

【軽作業】

屋内外の清掃、公園、庭等の除草や草刈り、植木の消毒、農作業関連の仕事を実施しました。

【サービス】

高齢者世帯の掃除、片付けなどの家事援助サービスを実施しました。

(2) 受託事業（業務委託）

前年度に引き続き、広川町指定管理者業務を受託しました。

① 令和2年度実績

就業実人員	就業延人員	契約金額
51人	1,220人日	13,039千円

② 主な就業分野

竜光寺公園、善蔵塚古墳公園、広川町運動公園、湯納楚山公園、岩山公園の管理運営業務に従事しました。

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

1 職業紹介事業

就業を希望する高齢者に就職を斡旋する窓口を設けました。

2 労働者派遣事業

福岡県シルバー人材センター連合会が派遣元となり、指揮命令や従業員との混在等が伴う業務について、実施しました。

① 令和2年度実績

就業実人員	就業延人員	賃金
22人	1,291人日	9,028千円

② 主な就業分野

小中学校用務、農業用ビニールフィルム加工業務、事業所の車両清掃業務

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及啓発、情報提供、研修、講習、相談・助言、調査研究等（公益目的事業）

1 普及啓発事業

(1) 広報活動

- ① 会員拡大及び就業拡大のため、管内全世帯に業務内容告知と会員募集のパンフレットを配布しました。
- ② 八女市と広川町の広報紙に、シルバー人材センターの記事を掲載しました。
- ③ タウン誌やFM八女等を活用し、会員募集及び就業拡大を図りました。
- ④ 諸行事参加やボランティア活動に参加する時は、普及啓発ジャンパーを着用し、シルバー人材センターのPRに努めました。

(2) 社会参加活動

- ① 本所、各出張所管内で公共施設周辺、公園等の草刈り、清掃や除草などの奉仕作業を行いました。
- ② 八女市、広川町の各地域で行われているボランティア活動に参加しました。

(3) 女性部会（コスモス会）の活動

アロマワックスカップ作り講座、フラワーアレンジメント講座及び健康体操教室を開催し、会員間の親睦・交流及び健康増進を図るとともに、新規入会者の加入促進を図りました。

2 安全・適正就業推進事業

(1) 安全就業対策

- ① 受注時に安全面等、高齢者の就業に相応しい仕事であるかなど事前検証を行い、事故の未然防止を図りました。
- ② 「安全は全てに優先する」をモットーに、朝礼時に安全十訓の唱和を行いました。
- ③ 作業別安全基準の、再確認を図りました。
- ④ 機械取扱講習会で、機械器具の点検、正しい使用法など事故防止に努めました。
- ⑤ 交通安全講習会を開催し、就業途上等での事故防止に努めました。
- ⑥ 安全パトロールを実施し、作業現場での安全就業の啓発を図りました。
- ⑦ 新規入会会員説明会で安全・適正就業について周知しました。
- ⑧ 理事会において、事故報告を行い、原因と再発防止策を講じました。
- ⑨ 各出張所へ情報提供と安全就業対策徹底の呼びかけを行うとともに、令和2年度に頻発した草刈作業における飛び石事故対策を、地域班合同会議や、安全・適正就業委員会で協議しました。

(2) 適正就業対策の徹底

- ① 受注時に指揮命令、従業員との混在作業の有無などの確認を行い、対応しました。
- ② 新規入会会員説明会、地域班合同会議において周知を図りました。
- ③ 各出張所へ情報提供と適正就業対策の徹底の呼びかけを行いました。

3 相談事業

(1) 就業相談の実施

正会員及び地域の高齢者を対象に、窓口や電話等により、随時就業相談を行いました。

(2) 入会説明会の開催

入会される方の利便性を図るため、各所で随時説明を行うとともに、DVDを活用し説明の充実を図りました。

4 研修・講習事業

- (1) 植木や果樹の剪定講習会を開催し、技能習得と安全作業の意識向上を図るとともに、発注者の満足度を高めることに寄与しました。
- (2) 交通安全講習会を開催し、高齢者の交通事故防止に努めました。
- (3) チェーンソー及び草刈機取扱講習会を開催し、作業効率、正しく安全な使用方法や技能の向上を図りました。

5 組織の活性化と運営体制・財政基盤の強化

(1) 理事会、専門部会及び各委員会等

- ① 筑後ブロック会計担当職員研修会に参加し、近隣センターと情報の共有を図りました。
- ② 普及啓発部会で「シルバー人材センターのパンフレット」や「事務局だより」を発行し、会員に親しまれる、身近なセンターづくりをめざしました。

(2) 地域班

- ① 地域班合同会議では、安全就業の徹底や会員拡大、郵便局の配分金振込手数料有料化について協議し、消費税のインボイス制度について情報の共有を図りました。

(3) 事務局体制の強化

- ① 本所・各出張所間の業務相互支援体制を推進し、組織の内部強化を図りました。
- ② 各研修会へ各所毎の担当職員が参加し、資質の向上を図りました。
- ③ 随時、職員会議を開催し、情報の交換と共有による意思の疎通を図りました。

(4) 安定した財政基盤の推進

- ① 国、八女市、広川町から前年度と同額の補助を受けました。
- ② 備品や消耗品の購入をできる限り先送りし、徹底した経費削減に努めました。また、意思の統一を図るため職員会議を重ねました。
- ③ 公用車利用による旅費削減を図りました。